

第1回AM Worldセミナー

～日本のAM技術の普及に向けて～

導入検討者から熟練者まで！未来の製造業を見据えたAMセミナー！AM技術導入の課題から解決方法まで、実践的ワークショップ形式で学ぶチャンス。

同時開催、国内外の金属AM技術のスペシャリストが各業界の最新AM適用事例をご紹介します！

(AM: Additive Manufacturing: 3Dプリンター)

未来のエンジニアを応援！ 学生参加は無料！



慶應義塾

Keio University



大阪大学

OSAKA UNIVERSITY



Fraunhofer

IAPT



三菱重工



Nikon



Expert on Metal 3D Printing

講演テーマ

司会進行 セミナー実行委員長 慶應義塾大学 准教授 小池 綾氏

10:00-10:10 AM部会長 大阪大学 理事・副学長 田中学氏 開会のご挨拶

10:10-11:20 金属AM初心者運用講座とワークショップ AM部会広報委員会主催

11:20-12:00 FhG IAPT Mr.K.Janzen, Dr.L.Waalkes

「New Advancements in Metal Binder Jetting」<英語講演>

13:00-13:40 経済産業省 素形材産業室長 星野 昌志氏「素形材産業を巡る動向とAMへの期待」

13:40-14:20 三菱重工業(株) 常務執行役員、CTO兼CoCSO 伊藤 栄作氏

「設計・製造プロセスを革新するAM技術」

14:20-15:00 (株)ニコン 代表取締役 兼 会長執行役員 CEO 馬立稔和氏 「NikonのAM戦略」

15:20-16:00 慶應義塾大学 准教授 小池 綾氏「宇宙AM-異重力場で拓くAM技術の新展開」

16:00-16:40 HBD Mr. Rodgers Ma, Mr. Deng Pu「中国におけるAM市場と品質保証」

<通訳あり>

16:40-17:20 集中討議「AM品質保証」阿久津氏(埼玉車体(株)), 木寺氏(愛知産業(株))

17:20-17:30 実行委員長 慶應義塾大学 准教授 小池 綾氏 閉会のご挨拶

開催概要

・日時：2024年10月15日（火）

・開始：10:00（受付開始9:30） 終了予定 17:30

※ご昼食は各自でお済ませ下さい。ホール内の飲食はできません。

・場所：慶應義塾大学 三田西校舎518教室

・アクセス：田町駅（JR山手線・京浜東北線）徒歩8分

・定員：400名（定員に達し次第、締め切ります）

・受講料（税込/1名）：溶接協会会員15,000円、非会員20,000円、学生無料
後援団体（裏面）所属の方は会員価格でご参加いただけます。

※学生は28歳まで。受付で学生証を提示いただけます。

・講演資料は参加者へ事前に電子配信します（当日の配布はありません）。

講演者&講演概要



経済産業省 製造産業局
素形材産業室室長 星野 昌志 氏

ものづくりのゲームチェンジャーとなりうる金属積層造形技術の現状と、今後の期待について述べる。



慶應義塾大学
理工学部システムデザイン工学科
准教授 小池 綾 氏

アカデミアから見た日本のAMに対する期待と今後のAM技術の宇宙産業での展開を語る。



FhG IAPT
Dr. L. Waalkes
Mr. K. Janzen Msc

最近量産分野で注目を集めているM.B.J. (Metal Binder Jet)の最新技術を持続可能性とコスト削減に焦点を当てて紹介する。



HBD
Vice President Mr. Rodger Ma
Process Development
Supervisor Mr. Deng Pu

欧米で採用されたHBDの品質管理技術を示すととも中国でのAM技術の現状を語る。



株式会社ニコン
代表取締役 兼 会長執行役員 CEO
馬立 稔和 氏

大型・高生産性を狙うSLM大型機と開発中の高精度・高生産性を狙う革新的なSF-DED技術を紹介する。



三菱重工業株式会社
常務執行役員、CTO兼CoCSO
伊藤 栄作 氏

当社で実践されているDfAMの様々な機能への反映と目指すべきAM品質保証の在り方を述べる。

ワークショップ概要

初めてAMに接する方を対象にAM造形プロセスを考慮したAM設計を体験するとともに、AMの難しさと従来プロセスに対する優位性の両方を体験できるワークショップを開催します。

- ①造形用データ準備 ②問題点抽出(造形・仕上) ③データ修正
④造形 ⑤測定 ⑥仕上加工 ⑦完成
一貫してAMの製造工程を体験することが可能です。

AM部会はAM教育から国際認証獲得まで一貫した育成プログラムを提供します。
10:10-11:20のほか、お昼の休憩時間にも対応しています。

主催  日本溶接協会 AM部会

後援  一般社団法人 日本AM協会



AM研究会、溶接学会、溶接接合工学振興会、レーザ加工学会

協力 



SANPO
産報出版

詳細/お申込み <https://www.jwes.or.jp/committees/am/seminar/>



一般社団法人日本溶接協会 AM部会担当事務局
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20
TEL : 03-5823-6324

